

<学部企画> 「学びの場」としての飯田・下伊那 —その魅力と可能性を探る

法政大学国際文化学部では、本年度から留学生を主対象とした「S J 国内研修」(8泊9日)を実施することになっており、それに向けた事前学習授業「世界とつながる地域の歴史と文化」が新規に開講されています。長野県南部の飯田・下伊那地方について体験的に知ることを通じて、この日本を地方の視点も加えて、複眼的にみていく目を養うことを目的としています。

これにあわせて、飯田・下伊那を舞台としてこれまで行なわれてきた各種の「学び」を、映像上映と関係者のシンポジウムを通して考察します。「学びの宝庫」とも言われるこの地域での研修の魅力・可能性や課題を、ともに考える場としていければと思います。

●日時：2012年7月7日(土) 13:30~17:30

●会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナードタワー3階 0300教室
(JRないし地下鉄の市ヶ谷駅・飯田橋駅のいずれからも徒歩約10分)

●プログラム：

1 映像上映 13:40~15:00

- ・渋谷区立中幡小学校の飯田体験学習
- ・それを引き継いだ飯田での渋谷区緑体験交流
- ・飯田を舞台とする全国の大学によるフィールドスタディ
- ・飯田インター大学(学輪IIDA)

2 シンポジウム：「学びの場」としての飯田・下伊那を考える 15:10~17:20

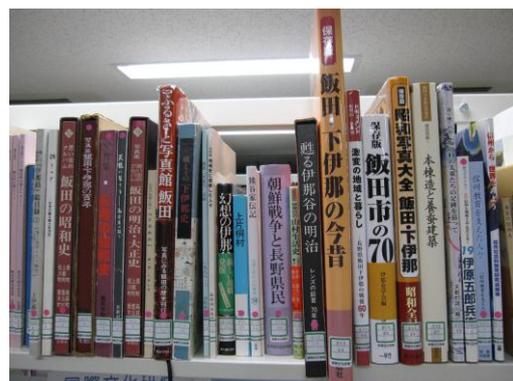
- ①杉原五雄(渋谷区立中幡小学校元校長)：ドングリの森づくり
 - ②吉田伸之(飯田市歴史研究所所長/東大大学院人文社会系研究科元教授)：飯田・下伊那で地域史を学ぶ
 - ③寺沢秀文(満蒙開拓平和記念館事業準備会専務理事/不動産鑑定士)：いまなぜ満蒙開拓平和記念館か？
 - ④西澤栄一郎(本学経済学部教授)：環境・農業をテーマとするゼミのフィールドワーク
 - ⑤高柳俊男(本学国際文化学部教授)：飯田・下伊那から日本がみえる、世界とつながる
- *司会：曾士才(本学国際文化学部教授)

主催：法政大学国際文化学部

連絡先：法政大学国際文化学部事務(03-3264-9345, *参加無料、事前申込み不要)



昨年度の第2回プレ研修の様様



学部資料室の研修関連資料